

ブドウ栽培にチャレンジ!

ふくいの果樹 第4号
2014年5月

簡易雨よけ施設でブドウを始めました

バックナンバーはこちら

ふくいの果樹

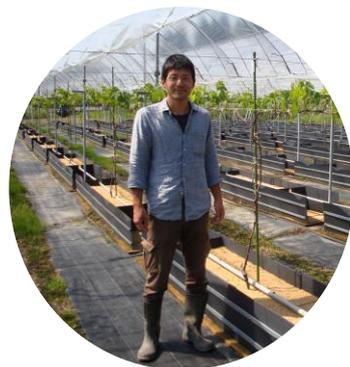
検索

「事例紹介：おおい町の溝口智也さんの話」

平成25年に新規就農し、ブドウ栽培を始めました。初期費用をなるべく抑えるためトンネル状の雨よけ施設を導入し、費用は、パイプハウスの4分の1ほどで済みました。

冬期間はビニールを外し、枝が伸び始める4月ごろに被覆します。雨よけ部分が風に弱いことが心配されましたが、アーチがしなることで、ある程度の風なら受け流してくれます。

今年から一部収穫ができるので、若狭地区の新たな特産となるよう管理を徹底したいと思います。



トンネル状の雨よけ施設



アーチ部分の内側



果樹棚のアンカー部分

栽培を始める際の支援があります

県では、5アール以上のブドウ栽培を始める方に対して、初期費用の一部を支援しています。

詳しくは、県生産振興課または最寄りの農林総合事務所、嶺南振興局までお問い合わせください。

「くだもの産地育成事業」(平成26年度の内容)

対象：認定農業者、営農集団等

事業内容：果樹棚、簡易雨よけ設備、苗木等

補助率：1/3以内(上限事業費10,000千円)

対象品目：ブドウ、イチジク等

要件：作付面積5アール以上

果樹栽培に興味をお持ちの方は、下記までご連絡ください

◆福井県農林水産部生産振興課 園芸振興グループ 堀江

福井市大手3丁目17-1 福井県庁内

(Tel0776-20-0432、FAX0776-20-0650、Mail seisan@pref.fukui.lg.jp)

◆福井県農業試験場園芸研究センター ウメ・果樹研究グループ 窪田

三方郡美浜町久々子35-32-1

(Tel0770-32-0009、FAX0770-32-5243、Mail engei-ken@pref.fukui.lg.jp)

ブドウの経営試算と年間作業

(1) 経営試算

ブドウは果樹の中でも比較的単価が高く、10アールあたり約150万円の売り上げが期待できます(500円×3,000房を想定)。経費としては、パイプハウスや果樹棚の減価償却費が最も大きく、次いで、出荷経費が多くかかります。その他に、肥料や農薬、燃料費等がかかり、所得は、売上から経費を差し引いた約65万円が見込めます。

所得を確保するためには、より高く売れる販売先を探したり、安い資材を使用したりすることもできますが、まずは、栽培管理を徹底して品質の良い果実を採ることが重要です。

売上 150万円		
所得 65万円	減価償却費 48万円	出荷経費 29万円

6
肥料農薬費等

ブドウ栽培の収支(10aあたり)

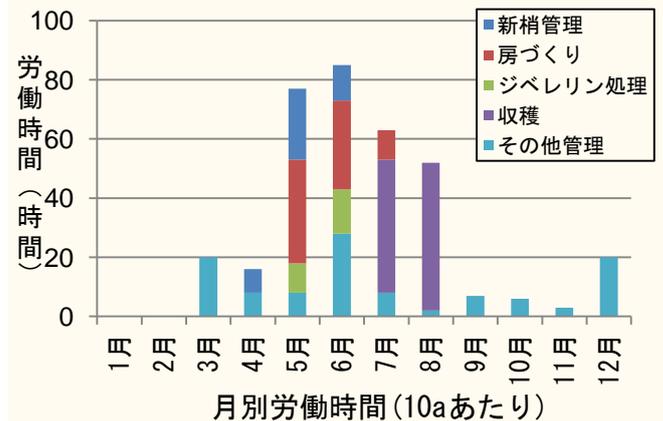


収穫した果実(シャインマスカット)

(2) 年間作業

ブドウの栽培は、新梢管理や房づくり、収穫作業を中心に、5~8月にかけて多くの作業時間が必要で、年間の作業時間は10アールあたり約350時間です。

他の果樹と比べると、ウメ125時間、ナシ210時間よりもかなり多く、特に重要な房づくりでは、果穂を短くする果穂整形、種なしにするジベレリン処理、仕上げの摘粒といった特殊な作業が必要になります。



摘房・果穂整形

余分な果穂を取除きます



ジベレリン処理

種なし化・果実肥大促進



摘粒

房の形を仕上げます



袋かけ

病気や害虫を防ぎます

~ふくいブドウネットワークの紹介~

県内でブドウ栽培が広がっていく中、生産出荷者の技術向上や情報交換を目的に、平成24年に「ふくいブドウネットワーク」が発足しました。現在、43名が加入し、研修会の開催や、技術情報が詰まった会報誌を発行しています。

今年からは、「ふくぶる」という統一名称で販売を始めます。詳しい情報や入会については、ネットワークのホームページをご覧ください。(http://fukuib.web.fc2.com/)

